

## ■島根県公立大学法人評価委員会からの平成25年度業務実績に関する評価を受けての改善策

評価委員会からの「大学の教育研究等の質の向上」項目に対する評価の遅れている点(課題がある点)	島根県立大学の改善策
<p>◆図書の学外貸出を20%増加させるという計画に対し、学外貸出冊数は伸び悩み、昨年度と同水準に留まった。 公開講座と連携するなどして、図書の貸出を促進する取組みを検討されたい。【No.59】</p>	<p>以下のように広報活動を強化した。10～3月の学外貸出冊数は昨年度同時期の35%増となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座や市内広報スタンドを利用して、リーフレットやイベント案内の配付・設置(10月以降)</li> <li>・浜田市立中央図書館において本学蔵書のPR展示(12～1月)</li> <li>・市報への掲載(2月号)</li> </ul> <p>なお、学外貸出を一層促進する取組みとして、平成27年度から一部の公開講座をメディアセンター館内で開講することとした。</p>
<p>◆『北東アジア創成シリーズ』第2巻を刊行し第3、4巻の執筆に着手するという計画であったが、第2巻の刊行には至らなかった。【No.47-2】</p>	<p>平成27年1月22日(木)第3回編集委員会を開催し、各執筆者の進捗状況、今後の見通しを確認し、刊行計画を以下のとおり修正した。今後、年2回編集委員会を行い(4～5月及び11月を予定)執筆状況を確認し、新たな刊行計画を厳守する。</p> <p>第2巻: 予定原稿の75%(15万字/20万字)執筆済。平成27年3月に脱稿し、平成27年度上半期刊行予定。 第3巻: 平成27年12月に脱稿し、平成27年度下半期刊行予定。 第4巻、第5巻、第6巻: 平成28年度から平成29年度の間、脱稿したもののから順次刊行予定。 第7巻(最終巻): 平成29年度3月脱稿、平成30年度中期刊行予定。</p>
<p>◆海外英語研修(オーストラリアでの短期語学研修)は同一人が複数回の参加を目指す計画であった。「海外語学研修Ⅰ」には5名の学生が参加した。「海外語学研修Ⅱ」への参加はなかったため、参加しやすい環境を整備するよう検討されたい。【No.61-2】</p>	<p>海外英語研修Ⅰ(以下、「Ⅰ」という。)、海外英語研修Ⅱ(以下、「Ⅱ」という。)ともに春学期と秋学期に開講しており、Ⅱを履修できる者は、Ⅰを修了した者となっている。 平成25年度のⅠ履修者は、春学期は0名で、秋学期に5名であったため履修ルール上、Ⅱの履修者は0名となった。 平成26年度以降も、Ⅰの履修者に対してⅡを履修するように促すとともに、より多くの学生が海外で学ぶことが重要であると捉え、海外英語研修に加えて、異文化理解研修及び企業体験実習(海外企業研修)への参加を促すこととしている。</p>